

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】令和 5 年 4 月 21 日(2023.4.21)

【公開番号】特開 2022-105807(P2022-105807A)  
【公開日】令和 4 年 7 月 15 日(2022.7.15)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-129  
【出願番号】特願 2021-372(P2021-372)  
【国際特許分類】  
H 0 1 R 12/77(2011.01)  
【F I】  
H 0 1 R 12/77

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 4 月 12 日(2023.4.12)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 0  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 2 0】

20

左右両張出部 1 2 の前端部には、シート状フレキシブル導電部材 1 1 を上下に貫通した形態の係止孔 1 4 が形成されている。シート状フレキシブル導電部材 1 1 を上から見た平面視において、係止孔 1 4 は、長辺を前後方向に向けた長方形をなしている。シート状フレキシブル導電部材 1 1 のうち係止孔 1 4 よりも後方の領域には、左右に間隔を空けた複数(本実施例では 3 つ)の位置決め孔 1 5 が形成されている。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 3  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 2 3】

30

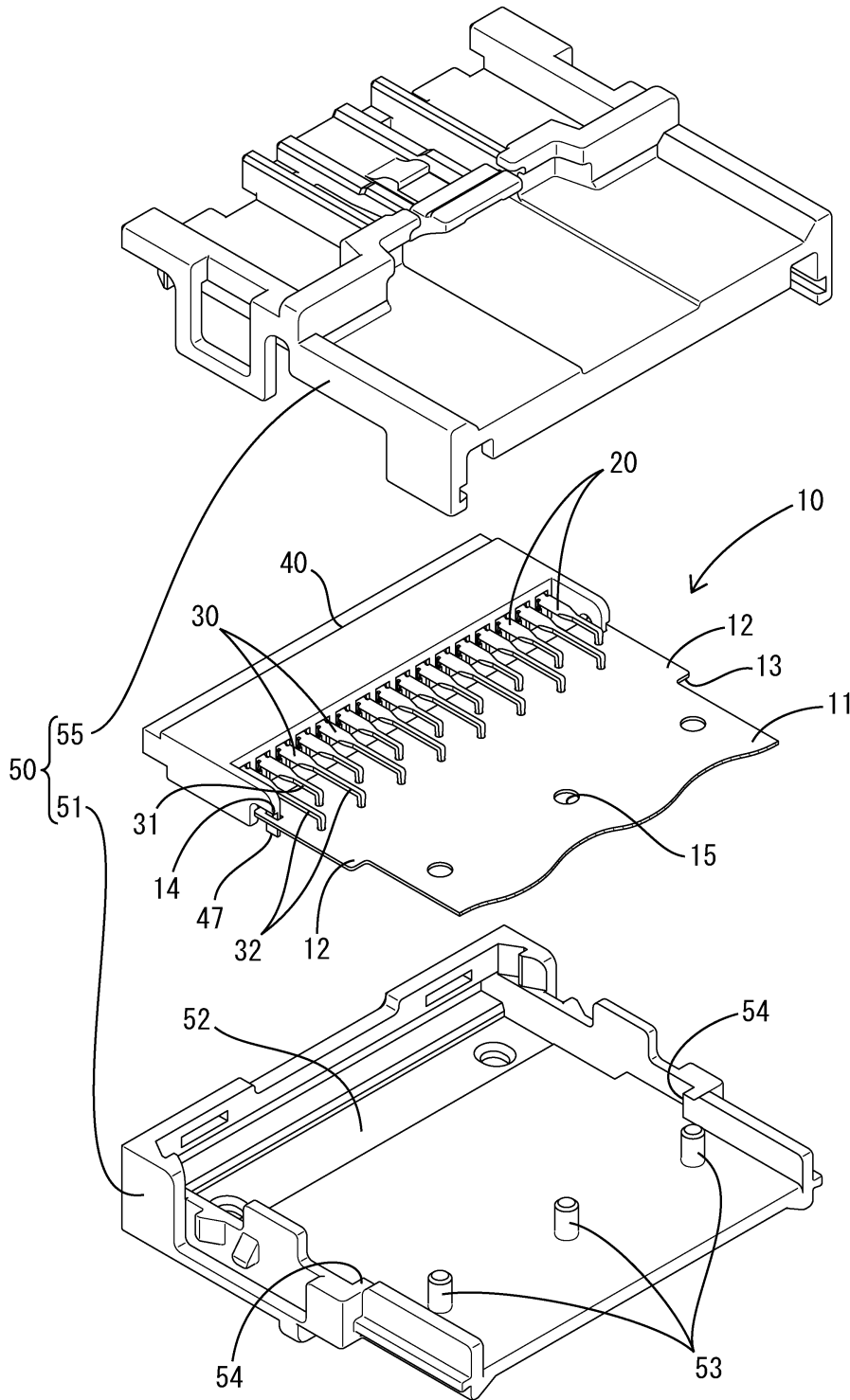
図 3 に示すように、第 2 端子金具 3 0 は、前後方向に細長い角筒状の第 2 端子本体部 3 1 と、第 2 端子本体部 3 1 の後端から後方へ延出した第 2 接続部 3 2 とを有する単一部品である。第 2 端子本体部 3 1 には、図示しない相手側コネクタに設けた相手側端子が、前方から挿入されて接続されるようになっている。第 2 接続部 3 2 の前端部には、第 2 端子本体部 3 1 と同じ幅寸法を有する第 2 幅広部 3 3 が形成されている。第 2 接続部 3 2 は、第 2 幅広部 3 3 よりも幅狭で、第 2 幅広部 3 3 の後端から後方へ延出した細長い第 2 延出部 3 4 を有する。第 2 接続部 3 2 は、第 2 延出部 3 4 の後端から下向き(シート状フレキシブル導電部材 1 1 に接近する方向)に屈曲した第 2 挿入部 3 5 を有する。

40

【手続補正 3】  
【補正対象書類名】図面  
【補正対象項目名】図 2  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

50

【図 2】



10

20

30

40

50